

科目区分	専門分野Ⅱ			科目番号	0807	曜日時間	通年
授業科目	成人看護学実習Ⅰ						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	長谷川 ゆかり ・ 横手 理香 ・ 岡原 幸代						
授業目的	命の根源に関する機能を障害した対象を理解し、自然治癒力を高め生活を整えていく援助を学ぶ。						
中核	セルフマネジメント						
授業目標	(内部環境調節機能障害、身体防御機能障害) 1. セルフマネジメントを必要とする患者の特殊性を理解する。 2. 健康に向かう対象の持てる力を捉えることができる。 3. 対象が、セルフケアを継続するうえで、困難なことを明確にする。 4. 対象の思いを尊重した目標を設定し、必要な援助を考える。 5. 対象がセルフマネジメントを行うために必要な生活調整を行うことができる。 6. 多職種との連携に必要な知識と具体的方法が分かる。 7. 体験を振り返りセルフマネジメントを必要とする対象にとっての看護の意義を明らかにする。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
		対象の生活と問題の予測・修正の学習をする ・事前オリエンテーション ・自己の科目目標を決定する ・効果的な自己学習を検討する ・病棟の特徴を理解する	講義・グループワーク	(8)	長谷川かゆかり	事前学習も含めて問題意識をもつ	
12日間	病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る 潜在的問題と現象との関連についてとらえる 体内環境に問題のある対象の全体像を把握する 健康を障害した対象のライフサイクルを経過を理解する 回復するための必要条件からその人の思いをとらえる 自力で生活調整が困難な部分を理解する 生活の調整方法を理解する 継続したセルフマネジメントへの援助を行う 家族と連携した援助を行う 対象を支える家族への援助を実際の看護師の関わりから学ぶ カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める	臨地実習	90	各担当教員			
終了後課題	受け持ち患者に必要なレポート						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	長谷川ゆかり	看護師	: 病院勤務	20年	看護教員: 学校勤務	1年	
	横手 理香	看護師	: 病院勤務	26年	看護教員: 学校勤務	2年	
	岡原 幸代	看護師・保健師	: 地域包括支援等勤務	6年	看護教員: 学校勤務	5年	
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考							